



公共事業事前評価調書(平成28年度予算要望)

所管課: 海岸防災課

担当班: 海岸班

| | | | | | | |
|-------------------|--|-----------------|------------|----------------|-----------|---------|
| 事業名 | 中城湾港海岸(川田地区)海岸堤防等老朽化対策緊急事業 | | 事業区分 | 海岸事業 | 事業主体 | 沖縄県 |
| 事業箇所 | うるま市川田地先 | | | | | |
| 事業の諸元 | 事業延長:563m 工法:護岸改良(直立式石積護岸) | | | | | |
| 事業の概要 | 当該海岸は沖縄本島中部うるま市に位置し、中城湾港新港地区に面する海岸であり、既存の護岸は琉球政府時代以前に築造された直立石積式護岸である。一部の石積護岸は目地の開きによる吸出しが発生して石積が崩落しており、天端被覆工等は全延長でコンクリート剥離、剥落が発生し老朽化が進んでいるため、早急に老朽化対策を行う必要がある。 | | | | | |
| 事業の必要性・効果等 | <p>[必要性] 背後地は県道33号線、製糖工場及び住宅などがあるため、高潮等の被害から防護するとともに、海岸環境の整備と保全を図る必要がある。 また、平成25年度までに実施している老朽化点検結果において、当該海岸は整備優先度の高い海岸となっている。</p> <p>[効果] 海岸保全施設の整備により背後地を高潮等の被害から防護することができ、地域住民が安心して生活できる環境となる。また護岸沿いを散策路として活用し、地域に親しまれる海岸が創出される。</p> | | | | | |
| 事業期間 | 事業採択 | 平成 28 年度 | | 完了(予定) | 平成 32 年度 | |
| 全体事業費 | 2.9 | (億円) | 補助・単独の別 | 補助 | 補助率 | 9/10 |
| 費用対効果 | B/C | 総便益:B | 98.07 (億円) | 総費用:C | 2.52 (億円) | 基準年 |
| | = | ① 高潮防護便益98.07億円 | | ① 事業費 2.29億円 | | 平成 26年度 |
| | | ② | | ② 維持管理費 0.23億円 | | |
| | 38.9 | ③ | | ③ | | |
| 事業着手の熟度・上位計画との整合性 | <p>・21世紀ビジョン実施計画の施策展開「災害に強い県土づくりと防災体制の強化」に位置づけられている。</p> <p>・琉球諸島沿岸海岸保全基本計画において整備計画が位置付けられている。</p> | | | | | |
| 環境への配慮 | 当該海岸周辺には、トカゲハゼ等が生息しているため、干潟への影響を最小限とする護岸形式とし、環境に十分配慮した施工方法、施工計画を、実施計画等で十分検討し、自然環境、生態系へ配慮する。 | | | | | |
| 関係する地方公共団体等の意見 | うるま市及び川田区自治会より海岸整備の要望がある。 | | | | | |
| 概要図(位置図) |   | | | | | |